

## 令和 8 年度 長野県須坂看護専門学校運営会議 議事録

日 時：令和 8 年(2026 年) 7 月 15 日(水) 午後 2 時から午後 2 時 45 分

場 所：長野県須坂看護専門学校 会議室

出席者：21 名

### 【外部委員】

荻原 幹子（須坂市健康福祉部 部長）

坂口 幸治（信州医療センター 病院長）

和田 圭菜（美須峯会（同窓会） 会長）

佐藤 梨恵（こぶしの会（家族会） 会長）

### 【学校職員】

小林 由利子 校長 以下 16 名

### 【オブザーバー】

水沢 直人（長野県健康福祉部医師・看護人材確保対策課看護係 主任）

内容：

#### 1 開会

#### 2 校長挨拶

校長より、運営会議の法的位置付けと学校運営における役割について説明があった。令和 7 年度は新カリキュラム完成年度として初の卒業生を輩出したこと、地域・社会学演習の導入により地域理解が深まるといった成果、全国的な定員割れの中で定員 40 名を確保できたことが報告された。また PDCA サイクルに基づく学校運営の改善を進める方針が示された。

#### 3 委員自己紹介

外部委員および学校職員等が所属・役職等を紹介した。

#### 4 会議成立報告

構成員 21 名中 17 名出席しており、運営会議規程に基づき会議の成立が確認された。

#### 5 学校概況説明：副校長

学校概要として、平成 26 年度から 4 年制看護専門学校となり高度専門士の称号を付与していること、通信制大学との選択併修制度を導入していることが説明された。教職員は専任教員 12 名、非常勤講師 122 名、学生総数 141 名である。学費支援制度、実習施設、入試結果、卒業後の進路、寄宿舍運営、学校行事について詳細な説明が行われた。

#### 6 質疑応答

委員から生成 AI 利用に関する質問があり、学校として現時点ではガイドラインは未整備であるが、学生への聞き取りや活用状況の把握を行っていること、今後は実習施設等とも連携し活用ルールを検討していく方針が示された。

7 令和7年度学校自己評価報告：副校長

教育理念・教育目標、教育課程、教育活動、組織運営、教育環境、学生募集、国家試験結果等について説明があった。新科目として臨床薬理学、看護栄養学を開講したと、ハラスメント相談窓口を明記したこと、Wi-Fi環境整備を実施したことが報告された。施設・寄宿舎の老朽化が課題であることも共有された。

8 学校評価アンケートへの対応

試験答案返却方法に関する学生・保護者からの意見について説明があった。学校としては振り返り学習の充実、過去問依存の防止、授業への主体的参加を重視しており、今後も丁寧な説明を継続する方針である。

9 意見交換

信州医療センターからは学生の実習態度について概ね良好であるとの意見があった。また学生用駐輪場の環境改善に関する報告がされた。卒業生委員からは地域包括ケア病棟だけでなく多様な病棟を経験できる実習体制の重要性が示された。保護者委員からは4年制教育によるゆとりある学習環境への評価があった。須坂市からは手話言語条例関連事業への協力に対する謝意と今後の連携継続への期待が示された。

10 その他

学校側から追加議題はなく、外部委員からも特段の追加意見はなかった。

11 閉会

出席者への謝意が述べられ、令和8年度長野県須坂看護専門学校運営会議を閉会した。